

弥生：第12話「本校の強みと弱みをふまえて」

全教職員で、来年度にむけて、横浜小学校が目指す教育について考えました。

先ず、考えたのが**学校の強みは何か**ということです。

児童は素直で元気がよく、具体的に指示されたことは実行しようと努力しています。例えば、毎朝立ち止まってあいさつをしたり、黙って掃除をしたりすることなどです。どのクラスも教職員と児童が概ね良好な関係を作っており、児童同士の仲が良く、どの学級でも、男子と女子が気軽に言葉を交わしたり、困っている人を助けようとしたりします。

今年一年かけて、先生が問題を出して、児童が答えるという

授業の形態を

改め、児童が質問したり、友達のことを聞いて自分の意見を述べたりする学習を行ったことや、**児童のよさを見つけたり、友達のよさを見つけたりする活動**を通して、児童一人一人が学校生活に満足したり、仲間づくりができたのではないかと思います。また、教職員が一体感をもち、ベクトルをそろえて指導に当たり、複数で対応することにも心掛けてきました。

さらに、総合的な学習の時間に、曳船や横浜おどり、昔遊びなど地域の方にご指導いただいたり、たかね荘や高齢

者サロンの方々と連携して、地域と直接つながる取組を行ったりすることで、**地域の中で育っている実感**を味わうことができたように思います。以上のことを、来年度はさらにレベルアップしたり、精度を高めたりすることが大切であると考えました。

一方、**弱みを考えることにより、来年度重点的に取り組むべきことが見えてきました。**

まず、学習面では、読むことが挙げられます。低学年では、マンガの入った本でもよいから、とにかく本に親しむ時間を確保することが大切であることや、中学年や高学年では、書く活動を取り入れながら、**速く読んで大まかな内容をつかんだり、新聞を読んで制限された字数で感想を書いたりする学習**に取り組んで行かなくてはならないということなどが出されました。

また、日常生活の中では、外遊びが少ないことや、軽い気持ちで相手がいやがることば（ちくちくことば）使うことなどが出されました。毎週火曜日はロング昼休憩として、先生たちも外に出て、子どもたちと一緒にドッジボールなど集団遊びを楽しんでいる光景をよく目にします。**体力づくりの面だけでなく、よりよい人間関係を作るためにも、外遊びは必要だ**と思いました。また、ちくちく言葉については、「**今のことば！**」とそこで短く注意をしたり、**道徳の時間に、言われた相手の気持ちを考えたりする**など、全校で取り組んでいくことが求められます。運営委員会を中心に、児童からの取組も効果的だと思います。

これからも地域や保護者の方々からの、横浜小学校に対するご理解とご支援をいただきながら、学校のために、坂町のために決意を新たにがんばります。

